

# インフルエンザ予防接種予診票

	診察前の体温	度	分
住 所			
氏 名			男・女
生 年 月 日	昭和・平成・令和	年	月 日生 (満 歳)

質 問 事 項	回 答 欄		医師記入欄
今日のインフルエンザの予防接種について説明書を読みましたか。	はい	いいえ	
今日の予防接種の効果や副反応などについて理解しましたか。	はい	いいえ	
現在、何か病気にかかっていますか。 病 名 ( )	はい	いいえ	
治療（投薬など）を受けていますか。	はい	いいえ	
その病気の主治医には、今日の予防接種を受けてもよいと言われましたか。	はい	いいえ	
免疫不全と診断されたことがありますか。	はい	いいえ	
今日、体に具合の悪いところがありますか。 具合の悪い症状を書いてください。( )	はい	いいえ	
薬や食品で皮膚に発疹やじんましんが出たり、体の具合が悪くなったことがありますか。	はい	いいえ	
インフルエンザの予防接種を受けたことがありますか。	はい	いいえ	
①その際に具合が悪くなったことはありますか	はい	いいえ	
②インフルエンザ以外の予防接種の際に具合が悪くなったことはありますか	はい	いいえ	
ひきつけ（けいれん）を起こしたことがありますか。	はい	いいえ	
1カ月以内に予防接種を受けましたか。 予防接種の種類 ( )	はい	いいえ	
心臓病、腎臓病、肝臓病、血液疾患などの慢性疾患にかかったことがありますか。 病名 ( )	はい	いいえ	
その病気を診てもらっている医師に今日の予防接種を受けてよいと言われましたか。	はい	いいえ	
最近1ヶ月以内に熱が出たり、病気にかかったりしましたか。 病名 ( )	はい	いいえ	
今日の予防接種について質問がありますか。( )	はい	いいえ	

医師記入欄	以上の問診及び診察の結果、今日の予防接種は（可能・見合わせる） 本人に対して、予防接種の効果、副反応及び予防接種健康被害救済制度について、説明した。 医師署名又は記名押印
-------	---

ワクチンロット番号	接種量	実施場所・医師名・接種年月日
ワクチン名 Lot No. (注)有効期限がきれていないか確認	左 0.25 右 0.5 ml	実施場所 はまみこどもくりにつく 医師名 佐藤 研 接種年月日 令和 年 月 日

## インフルエンザ予防接種希望書

予防接種の効果や副反応などについて理解した上で、接種を希望しますか。

( 接種を希望します・接種を希望しません )

この予診票は、予防接種の安全性の確保を目的としています。

このことを理解の上、本予診票が市町村に提出されることに同意します。

令和 年 月 日 被接種者自署

(※自署できない者は代筆者が署名し、代筆者氏名及び被接種者との続柄を記載)

# インフルエンザワクチンの接種について

インフルエンザの予防接種を実施するに当たって、受けられる方の健康状態を把握する必要があります。そのため、予診票に出来るだけ詳しくご記入ください。お子さんの場合には、健康状態をよく把握している保護者がご記入ください。

## ●ワクチンの効果と副反応

予防接種により、インフルエンザ感染を予防したり、症状を軽くする事ができます。また、インフルエンザによる合併症や死亡を予防する事が期待されます。

一方、副反応は一般的に軽微です。注射部位が赤くなる、腫れる、硬くなる、熱を持つ、痛くなる、しびれる事がありますが通常は2~3日で消失します。発熱、悪寒、頭痛、怠感、一過性の意識消失、めまい、リンパ節腫張、嘔吐・下痢、食欲減退、関節痛、筋肉痛なども起こる事がありますが、通常は2~3日で消失します。過敏症として、発しん、蕁麻疹、湿疹、紅斑、多形紅斑、かゆみなどもまれに起こります。強い卵アレルギーのある方は、強い副反応を生じる可能性がありますので必ず医師に申し出てください。非常にまれですが、次のような副反応が起こることがあります。(1)ショック、アナフィラキシー（蕁麻疹、呼吸困難、血管浮腫等）、(2)急性散在性脳脊髄炎(ADEM)（通常、接種後数日から2週間以内に発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害等）、(3)脳炎・脳症、脊髄炎、視神経炎(4)ギラン・バレー症候群、(5)けいれん（熱性けいれんを含む）、(6)肝機能障害、黄疸、(7)喘息発作、(8)血小板減少性紫斑病、血小板減少性、(9)血管炎(IgA血管炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、白血球破碎性血管炎等)、(10)間質性肺炎、(11)皮膚粘膜眼症候群、急性汎発性発疹性膿疱症、(12)ネフローゼ症候群。(1)から(12)の様な症状が認められたり、疑われた場合は、すぐに医師に申し出て下さい。なお、健康被害が生じた場合の救済については、健康被害を受けた人又は家族が独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づいて手続きを行うことになりません。

## ●予防接種を受ける事ができない人

- 1.明らかに発熱のある人(37.5℃を超える人)
- 2.重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- 3.過去にインフルエンザワクチンの接種を受けて、アナフィラキシーを起こしたことがある人  
なお、他の医薬品投与を受けてアナフィラキシーを起こした人は、接種を受ける前に医師にその旨を伝えて判断を仰いで下さい。
- 4.その他、医師が予防接種を受けることが不相当と判断した人

## ●予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなければならない人

- 1.心臓病、腎臓病、肝臓病や血液の病気などの人
- 2.発育が遅く、医師、保健師の指導を受けている人
- 3.カゼなどのひきはじめと思われる人
- 4.予防接種を受けた際、2日以内に発熱、発しん、蕁麻疹などのアレルギーを疑う異常がみられた人
- 5.薬の投与又は食事(鶏卵、鶏肉など)で皮膚に発しんが出たり、体に異常をきたしたことがある人
- 6.今までにけいれんを起こしたことがある人
- 7.過去に本人や近親者で検査によって免疫状態の異常を指摘されたことがある人
- 8.妊娠の可能性のある人
- 9.間質性肺炎、気管支喘息等の呼吸器系疾患のある人

## ●予防接種を受ける事ができない人

- 1.インフルエンザワクチンを受けたあと30分間は、急な副反応が起きることがあります。  
医療機関にいるなどして、様子を観察し、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
- 2.インフルエンザワクチン接種後1週間は副反応の出現に注意しましょう。
- 3.接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすることはやめましょう。
- 4.接種当日は、接種部位を清潔に保ち、いつも通りの生活をしましょう。  
激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
- 5.万一、高熱やけいれん等の異常な症状が出た場合は、速やかに医師の診察を受けて下さい。